



## 高島の「冬」を肌で感じる

立春を過ぎ、2月も後半になりました。暦どおりの春を思わせるような暖かな日もあり、昼休みに運動場で体を動かす子どもたちを見ていると、3学期ということをおぼえてしまうほどです。この冬はとても雪が少なく、除雪の負担が少なく済んでいることはありがたいと感じます。そんななか、タイミングに恵まれ4,5,6年生のスキー教室を開催することができました。1月下旬から2月上旬にかけて、積雪にめぐりあわなければ中止の判断をしなければならないような奇跡的な開催でした。高島市の冬の自然を体で感じ、この地に生まれ育ったことを幸せに感じる日々となりました。実技ができる時間はそれほど長くはなかったのですが、それぞれの学年に応じた子どもたちの成長が見える行事となりました。「来年はリフトに乗りたい」と次の学年のことを見通す発言も聞こえました。

この行事は実に多くの支援者のお力を持って実現できています。なかでも、北小学校希望の会のメンバーや保護者の皆様の支援には頭が下がります。その皆さんが心がけてくださるのは「冬のスポーツとの良い出会いをしてほしい」ということです。この気持ちに答えるかのように、自分の成長、上達ぶりを自覚する子どもたちです。その様子を見ながら、「お手伝いができてよかった。来週(他の学年の機会)にも都合をつけて駆けつける」と予定していなかった日まで急速参加して下さる方もいらっしゃるほどです。子どもたちの取り組む姿が、大人の心を動かすことを目の当たりにして、素晴らしいスポーツとの出会いに感謝するばかりです。



## メジャーリーガーからのメッセージ

もう一つスポーツとの出会いに関する話題です。ニュースでもたくさん取り上げられていますが、メジャーリーガーの大谷翔平選手から全国の小学校にグローブのプレゼントがありました。北小学校にも1月後半に届きました。全校児童が集まる機会には間に合わなかったため、学年ごとにプレゼントを披露することになりましたが、そのグローブを手にした時の子どもたちの表情が印象的で、全国でこのような出会いがあったかと思うと、改めて大谷選手の偉大さを感じずにはいられませんでした。

グローブには、「野球しようぜ」とメッセージが添えられています。野球選手らしいメッセージですが、すべての小学生に野球をしてほしいわけではないと思います。「自分は野球に出合って人生が変わった。君も何かスポーツに出会ってみたいか。スポーツに限らない。音楽や美術など芸術や芸能、何でもいいよ。自分が夢中になれるものがあるはずだ。そんなものを見つけてみたいか」と言ってくれているように感じます。このメッセージに応えるべく、いろんなことにチャレンジし、自分が打ち込めるものを見つけたいと願います。大切にに使わせていただきます。



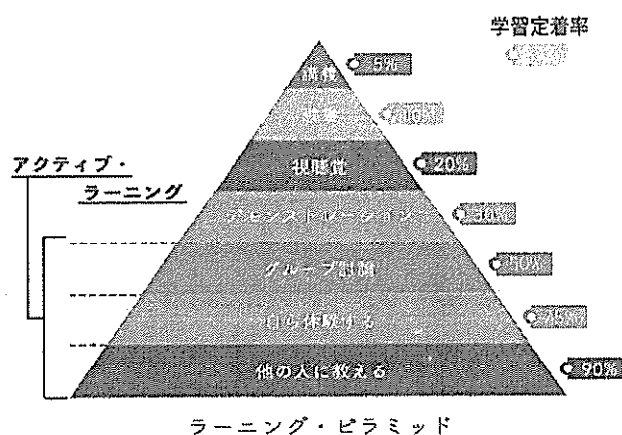
## 個別最適な学び 協働的な学び

今年度も残り数週間となり、新しい学年に向け、それぞれの学年で今年度を締めくくべくまとめの学習を行っているところです。過去3年間はコロナ感染症対策の中でマスク着用や消毒が徹底され、インフルエンザを発症する子はほとんど見られませんでした。今年度は久しぶりにインフルエンザによる出席停止が見られています。先週には、北小学校でも臨時休業を行った学級もあります。昨年にはなかった日常が戻っています。

3月には6年生を送る会、そして卒業証書授与式を全学年が同じ場所で参加する形式で開催する予定をしています。そのような日常が戻るとともに学習方法も以前のような形式に戻ってきています。合唱、合奏、調理実習といった昨年には実施できなかった学習が復活をしています。また一斉指導だけでなく、グループでの話し合いや活動も増えてきました。

ところで、「令和の日本型学校教育」という言葉をご存知でしょうか。それは全く新しい教育ではなく、これまでの日本の教育の強みを生かしながら改革をしていくものです。では、日本の教育の強みとは何でしょうか。海外の人が日本の学校を訪問した際、いちばんに感心するのは、小学校1年生の子どもたちが助け合いながら給食の配膳を整然と行っている場面だといえます。このようなみんなと同じことができる力の上に、自ら課題を見つけ、それを解決する力を育てるため、友達と協働し、自ら考え抜く学びの場が必要です。高学年の地域学校協働活動もそのようなねらいを持って取り組んでいます。もう二度と体験したくはないことですが、2020年のような長い臨時休業をするようなことが起こった時にも、自ら考えて行動する、学習することができる能力が必要とされるされていることは確かです。そのような個別最適な学び、協働的な学びを目指し、学年に応じて取組を進めています。4年前の臨時休業直後の学校だよりで取り上げたことの繰り返しとなりますが、コロナ時代が終わってから初めて迎える新年度に向けて再度発信をさせていただきます。

右の図は、「ラーニング・ピラミッド」と呼ばれる模式図です。ピラミッド（三角形）で、上に行くほど狭くなっています。この三角形の横幅は、学習の定着度を示しています。この図のとおり、一方的に聞くだけの授業（講義）では、学習定着率は5%にすぎません。ところが、「他の人に教える」は90%となっています。理解したことではないときちんと教えることは難しいのですが、（理解したから教えられるとは限りませんが…）この90という数字に魅力を感じずにはられません。各学級では、「ミニ先生」などと名づけて子どもどうしが支え合う取組をしています。これは教えられる子だけでなく教えている子にとっても大きな収穫となるものです。



そして、わかる子がない状態でも、仲間と考えを出し合い、話し合うなかでわかる子が生まれることもあります。大人の社会ってそんなことがたくさんあるのではないのでしょうか。何人かでアイデアを出し合ってよりよいものを提案する、作り上げる。社会人にとって大事な能力だと思います。教育の目的は「人格の形成」と法律には記されています。言い換えれば社会で活躍できる大人を育てることです。北小では、授業のなかで『学び合い』を取り入れ、より学習を定着させる努力をしています。仲間と話し合いを経て、新しいものを生み出したり、意見の対立があっても相手と折り合いをつけたりする経験を積み重ねます。そういったことが社会で活躍できる大人へ通じるものだと信じて学習を進めていきます。

ふるさとの誇りである「かばた」のように、地下深くしみ込んだ水がやがて清水となって現れるように、小学校のあいだに「しみ込ませる」ことを重ねます。子どもの力を信じ、その力を発揮させることが未来へつながると考えながら…。

### 3月 学校行事予定

1日 (金)	6年生を送る会 のぞみひろば	15日 (金)	のぞみひろば
4日 (月)	委員会活動	18日 (月)	字別児童会 前日準備
5日 (火)	学年費口座振替 (4,5,6年) 希望の会の日	19日 (火)	6年給食終了 卒業証書授与式
7日 (木)	3年立志祭	20日 (水)	春分の日
8日 (金)	のぞみひろば 同窓会理事会	21日 (木)	給食終了
13日 (水)	6年生謝恩会	22日 (金)	修了式
		25日 (月)	学年末休業開始